



都城市立美術館収蔵作品展

# 描かれた自然・文化遺産への旅

国民文化祭の延期に伴い、今秋に予定していた特別展「グッドデザイン展」が中止となりました。この代替企画として開催する今回の収蔵作品展。自然・文化遺産をテーマに、都城ゆかりの画家が描いた作品を中心に約50点を展示します。◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-11447

## 人類の宝 自然・文化遺産

法隆寺金堂壁画の焼損を契機に法制化された日本の「文化財保護法」や、ユネスコの「世界遺産条約」により、貴重な歴史・文化・芸術遺産や自然環境は総合的に保護されています。

こうした人類の宝である自然・文化遺産は、多くの画家によって描かれていて、当館も多くの作品を収蔵しています。

芸術の秋、絵画に描かれた自然・文化遺産を巡る旅に出掛けてみませんか。



刀坂守信「富貴寺」

## 【主な展示作家・作品】

石川翠村「都井岬火祭」、江夏英璋「飛丘」、大野重幸「通潤橋」、片ノ坂登「弧の幻想」、坂口伊佐男「盆地の山河」、塩水流功「早くおいで」、鱸利彦「夕陽桜島」、戸高直俊「ローマの遺跡」、中澤弘光「風景」、益田玉城「藤娘」、山田新一「聖堂（ケルンのカテドラル）」、和田英作「三保松原」など

## 収蔵作品展の概要

### ◎会期

10月10日(土)～11月23日(月)

※月曜日は休館（月曜日が祝日の場合は、その翌日）

### ◎開館時間

9時～17時（ただし、入館は16時30分まで）

### ◎観覧料

無料



山内多門「富士山」



野口徳次「室生寺幻想」